



# 美しい 県土づくりNEWS

2022年

10月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第218号  
令和4年11月1日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 「いわてサイクルステーション」の登録数が30施設に到達しました！！
- 5 一般国道107号大石地区仮橋架設工事  
11月30日に仮橋が開通します！
- 7 一般国道107号大石地区災害復旧工事で  
小学生を対象とした出前講座を開催しました！
- 9 花巻空港の滑走路舗装改良工事を進めています！
- 10 大船渡港海岸清水地区で住民説明会を開催しました！
- 11 「名勝高田松原」石碑の引渡・除幕式が開催されました
- 12 第8回岩手広告景観タウンミーティングを開催！
- 13 地震に強い住まいづくりを支援します！

# 三陸復興

## 「いわてサイクルステーション」が30施設に！ ～自転車を活用した観光振興等の促進～

令和4年4月1日からスタートした「いわてサイクルステーション」登録制度について、10月末までに登録数が**30施設**に到達しました。

「いわてサイクルステーション」の登録要件のひとつである**サイクルラック**には**障害福祉施設と連携して製作**したものや、**地域振興のために地元の高校生が製作**したものを活用した施設もあるなど、県内各地で登録が進んでいます。



写真：福祉分野との連携によるサイクルラックを県内で初めて活用した道の駅「むろね」の「いわてサイクルステーション」登録セレモニー



# 「いわてサイクルステーション」の登録数が30施設に到達しました！！



～ 道の駅等のサイクリング環境の向上 ～

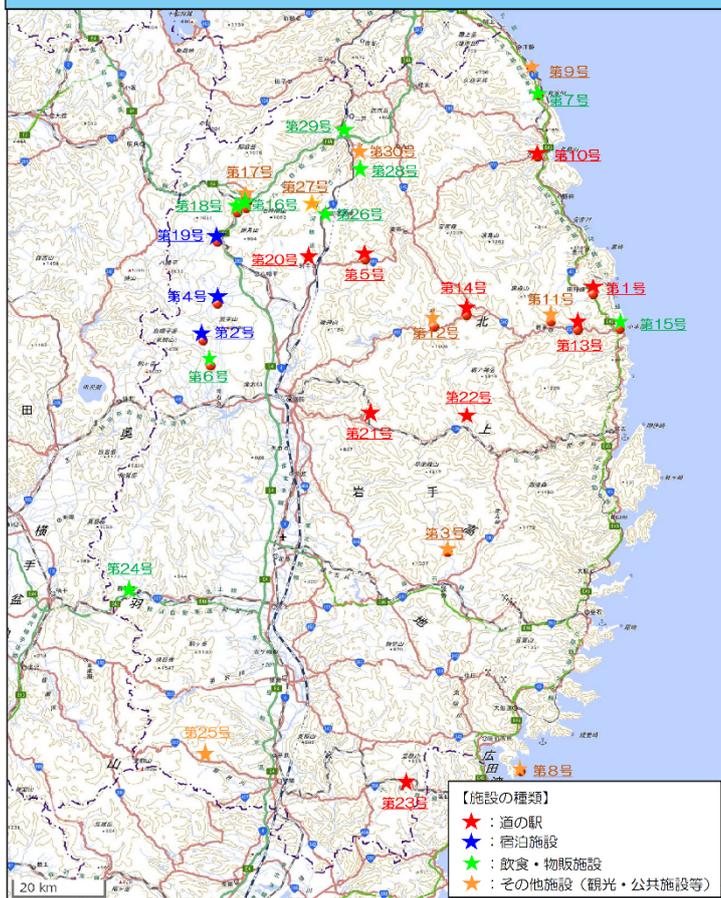
## 道路環境課

岩手県では、令和3年3月に策定した**岩手県自転車活用推進計画**に基づき、サイクリストなどの自転車利用者へ提供するサービスの充実を図り、本県における**自転車を活用した観光振興等を促進**することを目的として、サイクルラック設置等の所定の要件を満たす道の駅等の施設を県が「**いわてサイクルステーション**」として登録する新たな制度を**令和4年4月1日から**スタートしました。

この制度は、「トイレ」、「休憩所」、「サイクルラック」、「自転車修理用工具」、「空気入れポンプ」を無償で利用できる施設を県内のサイクリング拠点となる「**いわてサイクルステーション**」として登録するものであり、**東北各県では初めての取組**です。

本制度の開始後、9月末までに23施設を登録していましたが、10月に一戸町等の7施設を登録し、**登録数が30施設**に到達しました。

# いわてサイクルステーション



出典：国土地理院地図

いわてサイクルステーション登録施設一覧表 R4.10.19時点

登録番号	市町村	施設名	施設から一言	施設の種類の
第1号	田野畑村	道の駅「たのはた」	たのはた生乳ソフトがおすすすめ！！	道の駅 ★
第2号	幸石町	休憩村 岩手網張温泉	標高770mからの大パノラマは圧巻！	宿泊 ★
第3号	遠野市	遠野ふるさと村	遠野ライドの休憩におすすすめです！	観光・公共施設等 ★
第4号	八幡平市	八幡平マウンテンホテル	景観・温泉・料理を泊まって満喫！	宿泊 ★
第5号	葛巻町	道の駅「くすまき高原」	美味しいものが盛りだくさん！	道の駅 ★
第6号	幸石町	松ぼっくり	季節のジェラートがおすすすめ！	飲食・物販 ★
第7号	洋野町	きのこの駅	森と川に囲まれゆつくりできる場所	飲食・物販 ★
第8号	陸前高田市	黒崎仙郷温泉	三陸の海を堪能できます！	観光・公共施設等 ★
第9号	洋野町	洋野町にぎわい創造交流施設ヒロノット	施設内でもぜひ見学してください！	観光・公共施設等 ★
第10号	久慈市	道の駅「くじ」	秋まつりの山車を展示しています！	道の駅 ★
第11号	岩泉町	龍泉洞	地産産物をぜひご覧ください！	観光・公共施設等 ★
第12号	岩泉町	早坂高原ピクニックセンター	売店記念にっぺんそばを食べてみよう！	観光・公共施設等 ★
第13号	岩泉町	道の駅「いわいずみ」	ジェラートや短骨肉で疲労回復！	道の駅 ★
第14号	岩泉町	道の駅「三田良分校」	懐かしい分校でのんびり一休み！	道の駅 ★
第15号	岩泉町	道の駅 おもと農土館	海が近くサイクリングに最適です！	飲食・物販 ★
第16号	八幡平市	SHIMONO528	甘酒を使ったドリンクがおすすすめ！	飲食・物販 ★
第17号	八幡平市	寄りあい処ぬくもり	地元の方が寄り合う場所でお休みを！	観光・公共施設等 ★
第18号	八幡平市	ふうせつ花	おぼろ豆腐ソフトでライドを楽しもう	飲食・物販 ★
第19号	八幡平市	ロジタンテム	サイクリング拠点としてご利用ください	宿泊 ★
第20号	岩手町	道の駅「石神の丘」	食とアートが楽しめる道の駅です！	道の駅 ★
第21号	宮古市	道の駅「区界高原」	しそりんごソフトがおすすすめ！	道の駅 ★
第22号	宮古市	道の駅「やまびこ館」	「紫蘇っす」を飲んでリフレッシュ！	道の駅 ★
第23号	一関市	道の駅「むろね」	室根山ヒルクライムで山頂の大パノラマを楽しもう！	道の駅 ★
第24号	西和賀町	湯夢フラザ	5種類のレンタサイクルもどうぞ！	飲食・物販 ★
第25号	一関市	骨寺村荘園交流館 若神了亭	美しい農村景観で四季を感じてください！	観光・公共施設等 ★
第26号	一戸町	結カフェ	水や水を無償提供しています！	飲食・物販 ★
第27号	一戸町	奥中山高原温泉 朝朱の湯	ヒルクライムトレーニングにどうぞ！	観光・公共施設等 ★
第28号	一戸町	産直サラダボウル・こすや	新鮮な果物や手作りお菓子を楽観補給！	飲食・物販 ★
第29号	一戸町	庵口 Kid's-station	モンベルフレンドショップです！	飲食・物販 ★
第30号	一戸町	御所野縄文公園	世界遺産で縄文を感じながら一休み！	観光・公共施設等 ★

【福祉分野との連携によるサイクルラックを初めて活用した道の駅「むろね」】

「いわてサイクルステーション」の登録要件のひとつである**サイクルラック**について、県と社会福祉法人岩手県社会福祉協議会の連携による**障がい者の就労支援等を図る取組**として、県内で木工製品の製作・販売に取り組んでいる**障害福祉施設**で**県産木材**を活用した**サイクルラック**を受注製作していただけることになりました。

この**福祉分野との連携によるサイクルラック**を県内で初めて活用した一関市の道の駅「むろね」の「いわてサイクルステーション」登録に合わせて、9月8日（木）に**サイクルラックのお披露目式**と道の駅「むろね」の「いわてサイクルステーション」登録**セレモニー**を開催しました。

セレモニーでは、主催者の県及び社会福祉法人岩手県社会福祉協議会、道の駅「むろね」の施設管理者である一関市、指定管理者である室根産地直売協同組合の4者による除幕で**福祉分野との連携により製作したサイクルラック**をお披露目しました。

道の駅「むろね」のサイクルラックは、盛岡市の「**指定障害者福祉サービス事業所 盛岡市立しらたき工房**」が製作したものであり、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会から施設でのサイクルラック製作の様子などを紹介していただいた後、県から道の駅「むろね」に対し「いわてサイクルステーション」の登録証、ステッカー、のぼり旗の授与を行いました。

今回の道の駅「むろね」の登録を契機に、**福祉分野との連携によるサイクルラックが普及**し、新たなサイクルステーションの登録が進むことにより、**障がい者の就労や賃金の向上**と併せて、**県産木材の活用、自転車を活用した観光振興**が促進されることを期待しています。



＜サイクルラックのお披露目＞



＜登録証の授与＞

＜福祉分野との連携によるサイクルラック＞

「いわてサイクルステーション※」対応品  
※ 岩手県が登録するサイクルラックなどの自転車利用環境が整備された施設

**いわてはーとふる**  
**サイクルラック**

【製品のポイント】

- ★木材はすべて岩手県産木材を使用しています
- ★県内の障害福祉施設が手づくりで一つひとつ丁寧に製作しています

製品についてのお問合せ先  
**社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 共同受注センター**  
〒020-0831岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内  
 電話：019-637-4466 FAX：019-637-4255

【県立一戸高校の生徒が製作したサイクルラックを設置した一戸町の5施設を登録】

10月19日(水)には、一戸町の「結カフェ」、「奥中山高原温泉 朝朱の湯」、「産直 サラダボウル・こずや」、「鳥コ Kid's-Station」、「御所野縄文公園」の5施設を「いわてサイクルステーション」に登録しました。

この5施設には、県立一戸高校3年の山火教平さんが製作したサイクルラックが設置されています。山火さんは、「サイクリングで町を活気づけたい」と町内の製材業者等の協力を得てサイクルラックの製作に取り組み、今年7月の地元イベント「いちのへクラフト」では参加したこどもたちに塗装に関わってもらったなど、地元の想いがこもったサイクルラックに仕上げました。

今回登録した施設の中には、世界遺産内の施設として県内で初めてとなる「御所野縄文公園」も含まれており、自転車を活用した観光振興等が期待されます。

# いわてサイクルステーション



【施設の概要】

登録番号 第30号  
 登録日 令和4年10月19日  
 施設名 御所野縄文公園  
いちのへまちいわだて ごとよの  
 住所 一戸町岩館字御所野2  
 営業時間 (平日) 9:00~17:00  
 (休日) 9:00~17:00  
 定休日 月曜日、祝日の翌日、12月29日~1月3日  
 お問い合わせ (電話) 0195-32-2652  
 (Mail) jomon@goshono-iseki.jp  
 周辺情報 根反の大珪化木、浪打峠の交叉層  
 施設から一言 世界遺産で縄文を感じながら一休み！



【施設全景】



【サイクルラック】

【問い合わせ先】 岩手県 県土整備部 道路環境課

TEL : 019-629-5878 Email : [AG0004@pref.iwate.jp](mailto:AG0004@pref.iwate.jp)

【いわてサイクルステーション登録制度】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/1053036.html>

【いわてサイクルステーション登録施設】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/1056174.html>

# 一般国道107号大石地区仮橋架設工事 11月30日に仮橋が開通します！

県南広域振興局土木部北上土木センター

一般国道107号西和賀町大石地区では、令和3年5月に地すべりが発生し、通行止めが続いています。県では、国道機能を応急的に復旧するため、地すべり箇所を迂回する仮橋の工事を進めており、6月から仮橋の橋脚となる鋼管杭の打設を開始しました。鋼管杭の打設は順調に進み、橋脚が完了した箇所から桁の架設を進め、10月に仮橋のすべての桁がかかりました。

## 【10/21 時点の仮橋】



錦秋湖を横断する仮橋の鋼管杭打ち込みと桁架設は、クレーンに乗せた台船をダム湖面に浮かべて行うため、ダム水位の調整が必要です。ダム管理者である国土交通省北上川ダム統合管理事務所をはじめ、利水者である県企業局・東北自然エネルギー(株)・岩手中部土地改良区の皆様には水位調整にご協力いただき無事に施工することが出来ました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

今後、開通に向けて舗装や防護柵や視線誘導標など交通安全施設の整備を進めていきます。

【仮設材の撤去開始】



台船解体中

仮橋を含む現在の通行止め区間は令和4年11月30日(水)の午前11時に開通します。  
なお、秋田自動車道(北上西IC～湯田IC間)の無料措置は、供用開始と同時に終了となります。

NEXCO 東日本 URL

<https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/tohoku/2022/1024/00011908.html>

また(株)西和賀産業公社が運営する「道の駅錦秋湖」も営業を再開し、11月30日(水)から12月4日(日)までの5日間、来場者プレゼントなどの大感謝キャンペーンイベントが開催されます。



今後も、トンネル工事を含め国道 107 号大石地区災害復旧工事の早期完成に向けて取り組んでまいりますので、ご理解ご協力よろしくお願いします。

## 一般国道107号大石地区災害復旧工事で 小学生を対象とした出前講座を開催しました!

県南広域振興局土木部北上土木センター

北上土木センターでは、県の業務や建設業の魅力を県民に理解してもらうことを目的として、出前講座を積極的に行っています。

今年度の第1回は、10月14日(金)に国道107号大石地区で進めている災害復旧事業の現場において、湯田小学校全校児童75名を対象に開催しました。

開催にあたり、小野寺西和賀出張所長が災害復旧工事とインフラ施設の大切さを説明し、現場で働く受注者の若手女性職員から建設業のやりがいや魅力についてお話いただきました。



【小野寺出張所長の説明】

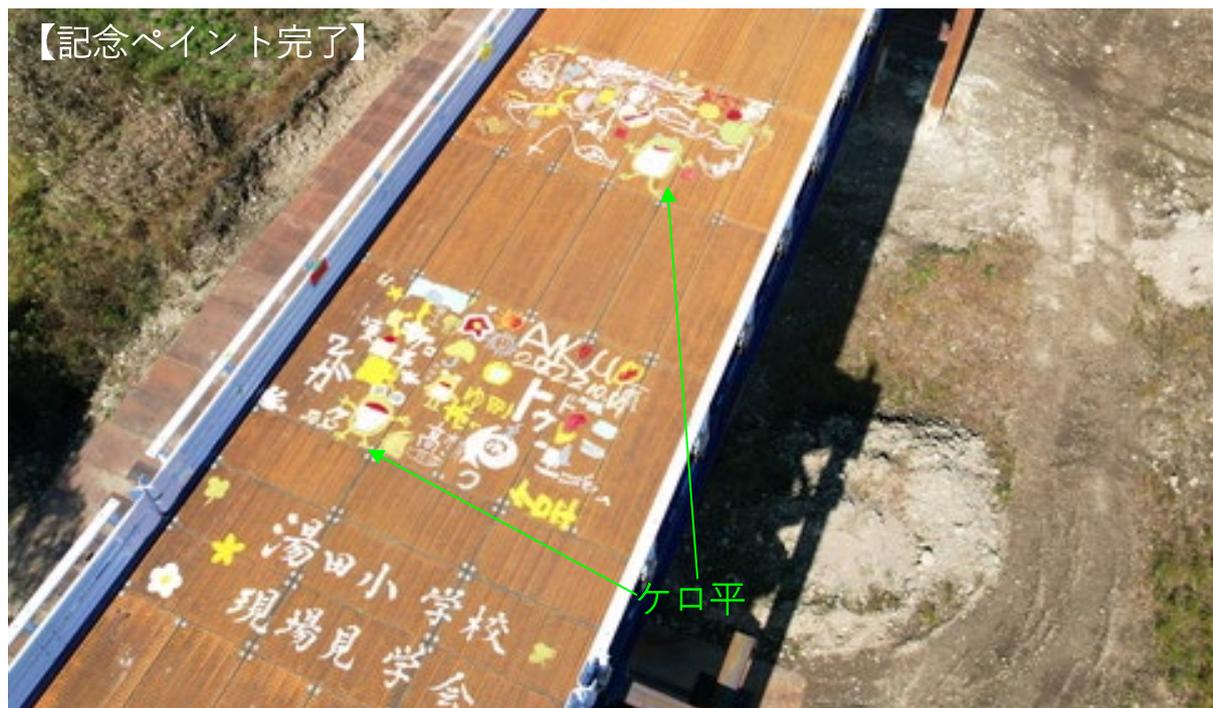


【現場で働く若手女性職員のお話】

工事概要などの説明を受けた後、児童は仮橋の舗装前の覆工板の上に記念ペイントとしてみんなで思い思いに絵を描きました。



【記念ペイント作業中】



児童からは「現場で女性が活躍していることがわかった」や「たくさんの方が働いていて驚いた」「みんなで絵を描くのが楽しかった」などの感想をいただきました。

【みんなで記念撮影】



北上土木センターでは出前講座を通じて地域の皆さんに対して、暮らしを守る建設業の魅力発信に取り組んでまいります。

**【空港整備事業】**

**花巻空港の滑走路舗装改良工事を進めています！**

**花巻空港事務所**

花巻空港では、現在の滑走路(2,500m)での供用開始から15年以上が経過し、滑走路面の劣化(ひび割れ等)が進んでいるため、令和2年度から令和5年度の4か年にわたり、「航空機の走行安全性能回復」を目的として、滑走路舗装改良工事を実施しています。

今年度は、東西のエプロン(駐機場)に通じる取付誘導路2か所との擦り付けを含む、延長 665mの切削オーバーレイを施工しています。

なお、滑走路等の空港基本施設(誘導路やエプロン等)について、運用時間内(8時から19時30分)は旅客機等が運航していることから、施工は運用時間終了後の夜間工事となります。

1日当たりの施工は45m程度を目途としており、路面切削、舗設、既設路面への擦り付けを1サイクルとし、運用時間前に確実に施工が完了するよう、安全面・工程面に細心の注意を払いながら実施しています。



◆ 令和4年度工事概要

- 《事業費》 314百万円(土木分 266百万円、電気分 48百万円)
- 《工期》 令和4年3月28日から令和4年11月30日まで(積雪期前に工事を完了)
- 《工事内容》 施工延長 665m、路面切削工 39,710m<sup>2</sup>、アスファルト舗装工 39,710m<sup>2</sup>、グルーピング工 30,810m<sup>2</sup>、飛行場標識工 2,376m<sup>2</sup>、航空灯火工 1式

《工事状況》



(航空灯火撤去工) ⇒ (アスファルト舗装工) ⇒ (航空灯火設置工) ⇒ (グルーピング工)

現在の状況としては、10月末に飛行場標識工の施工を予定しており、「積雪期前の工事完了」となる見込みです。今後は次年度の発注に向けた手続きを進めていくところです。

今年度の工事状況について、ホームページにも掲載しています。興味のある方はご覧ください。

⇒ <https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/airport/1057702.html>

## 大船渡港海岸清水地区で住民説明会を開催しました！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた大船渡市大船渡港海岸の清水地区において、災害復旧事業等により防波堤 0.82km、水門1基、陸閘9基を整備しました。令和4年5月に防波堤が完成し、同年9月に自動閉鎖システムの整備が完了したことから、9月30日（金）に清水地区の水門・陸閘の全箇所の運用を開始しました。



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。  
(承認番号 平 28 情使、第 307-G1MAP37585 号)

### 【説明会の目的】

清水地区の水門・陸閘の運用開始に伴い、津波注意報等により扉体が自動的に閉鎖するようになったことから、地域住民の方々を対象に事業完了を周知するとともに、陸閘の動作を現地で確認し、今後、津波注意報等が発表された際の避難に役立てていただくことを目的として、令和4年10月7日（金）に住民説明会を開催しました。

### 【説明会の様子】

当日は清水8号陸閘において説明会を開催し、地域住民約10名が参加しました。説明会では最初に水門・陸閘自動閉鎖システムの概要を説明し、実際に陸閘を自動閉鎖するときの動作を再現して、安全警報設備動作開始から扉体全閉完了までを確認しました。その後、挟み込み防止装置の作動確認のほか、全閉後の避難の手段として、非常扉、避難階段、乗越道路を確認しました。

参加者からは、扉体の材質やサイズ、閉鎖時の移動速度など様々なご質問をいただきました。



自動閉鎖システムの概要説明



非常扉の使用体験

# 「名勝高田松原」石碑の引渡・除幕式が開催されました

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

陸前高田市の高田地区海岸は、白砂青松の景勝地として、昭和15年に文化財保護法による名勝に指定され、県では、平成14年に海岸保全施設整備事業竣工を記念して「名勝高田松原」を記した石碑を設置しましたが、東日本大震災津波により高田松原の松林とともに石碑も流出してしまいました。

震災後、高田松原周辺では防潮堤の復旧や高田松原津波復興祈念公園の整備が行われ、これら復興事業の完成に当たり、陸前高田ロータリークラブから、石碑再建及び県への寄贈の申し出と、知事による「名勝高田松原」の揮毫の要望がありました。その後、同クラブによる石碑の製作及び復興祈念公園内への石碑設置が完了したことから、10月11日（火）に石碑の引渡・除幕式が開催されました。

式には、県から知事代理として八重樫沿岸広域振興局長が出席し、陸前高田ロータリークラブや陸前高田市長とともに除幕を行い、石碑の完成を祝いました。



▲石碑除幕



▲参加者集合写真



# 第8回岩手広告景観タウンミーティングを開催 平泉町で初開催 ～景観からの地域づくり～

都市計画課

岩手県では、屋外広告業関係者・市町村と共同で、身近な広告景観を通じて、景観のあり方を考える「岩手広告景観タウンミーティング」を開催（共催）しています。  
8回目となる本年度は、平泉町で初開催し、県内での取組拡大を図っています。

## ＜タウンミーティングの内容＞

より良い広告景観を形成するため、屋外広告業者・行政・地域などが情報を共有し、まち歩きやワークショップを通じ、都市景観の中における屋外広告物の役割を理解しながら、理想とする景観を、ともに考える機会としてタウンミーティングを開催しています。

8回目の開催となる今回は、屋外広告業や観光協会、自治体などの関係者約20名に参加していただきました。参加者は2班に分かれてそれぞれ平泉駅から毛越寺・中尊寺までの区間と国道4号平泉バイパス南側をまち歩きし、気になる看板や案内板を写真撮影のうえ、ワークショップにて意見交換を行いました。

各班からは、平泉町で定めている独自の屋外広告物条例・景観計画の基準に適合していない屋外広告物への対応や、屋外広告物の点検・管理について意見等があり、広告とまち並みの調和に対して意識を高める良い機会となりました。

## ＜第8回 岩手広告景観タウンミーティング＞

日時：令和4年10月20日（木）9：30～14：30

会場：平泉町学習交流施設 エピカ

まち歩き：平泉町平泉地区

主催：岩手県屋外広告美術業協同組合、岩手県屋外広告士会

共催：岩手県、平泉町

## ＜タウンミーティングの様子＞



平泉町からの情報提供



まち歩きの様子①



まち歩きの様子②



各班発表（ワークショップ）

### 意見交換

- 同じ系列のガソリンスタンドでも、経営者の違いによって、景観色に配慮していない広告物が見受けられた。
- 駅前には、小さくともデザインが良く、人目につく広告物があり、良い事例であった。
- 景観へ配慮した色彩による広告物への置換えは大分進んでいるが、規制を守ることに重点がおかれているため、規制の中で店のオリジナリティを出す努力が必要ではないか。

等

# 地震に強い住まいづくりを支援します！

～木造住宅耐震診断・改修事業のご案内～

建築住宅課

県及び各市町村は、昭和56年以前に建築された木造住宅について、耐震診断や、耐震改修に対する補助事業を実施しています。事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

県及び市町村では木造住宅の耐震診断及び耐震改修を行う場合に補助制度を設けています。耐震性が不足している場合に、相談員を派遣し耐震診断結果の詳細な説明や必要な耐震改修工事の概要などについての個別相談を無料で受けることができる制度もあります。

『これまでの地震を耐えたから、今後も大丈夫』と過信せず、大切な家族の命と財産を守るため、事業を活用して地震に強い住まいづくりに取り組みましょう。

制度の詳細やお申込み方法は、お住まいの市町村の担当課にお問い合わせください。

## 【補助制度を利用した耐震改修の流れ】



## 【耐震促進運動月間】

県では、毎年10月を「耐震促進運動月間」と定め、平成19年度から岩手県耐震改修促進計画の推進のための取組を実施しています。

各市町村では、戸別訪問やラジオ放送等を活用した周知活動を実施しています。また、県においては、耐震化が必要な建築物の現地指導等を実施しています。



耐震補強（筋かい）のイメージ

## 【市町村の担当課・募集状況（岩手県ホームページ）】

耐震診断：1010330

耐震改修：1010328

ページ番号検索